

---

# バカとクロスと異世界

紅優也

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカとクロスと異世界

### 【Nコード】

N1672BA

### 【作者名】

紅優也

### 【あらすじ】

これは明久が作者が独断と偏見で選んだ作品のキャラクター達と異次元で戦う物語です。  
スパロボネタあります。

プロローグ(前書き)

始まり



何を……救えるんだ？

こんな僕に？皆から『バカ』とか言われてる僕に？

「救えるよ……何故なら……君には力があるのだから……」

『！？す、須川会長！

吉井の周りに何か……バリアーが！』

「な、何い！？」

『吉井め！何時の間にそんな力を！』

「さあ……行こう！全てを救う為に！」

待ってくれ！君は一体……

僕の意識は其処で消え去った。

その日……『吉井明久』という一人の人間がこの世界から忽然と消えた。

そして……

……………

????? SIDE

「はあ……『坂本』の奴も人使いが荒いぜ……なあ……?!」  
見る限り砂漠だらけの場所で俺のストレスはマッハに近いスピードで上がりまくっていた。

『そう言っなよ……?』

俺達はその人のお陰でガンダムを奪われずしかも『サラブレッド』も修理してもらったんだぜ？

その借りは返さなきゃいけないだろ?』

モニターに相棒の姿が移りその後で言われた言葉に俺はぐうの音も出なかった。

「そりゃそうだけだよ……と、そろそろ次元震があったポイントだ。」

俺は自分のモビルスーツの『ガンダム五号機』に戦闘態勢を取らせつつ徐々に発生ポイントに接近していく。

隣では相棒のモビルスーツの『ガンダム四号機』が戦闘態勢を取りながら移動していた。

「……？変だな次元震があったのに『ネウロイ』の姿もなけりや『次元獣』……果ては『バジユラ』も影も形もねえぜ？」

『おいおい……ガセネタは……！？』

やべえ……？？？！構えろ！アンノウン反応だ！動いちゃいねえが一機何かいやる！』

「な、何だって！」

俺は慌ててガンダム五号機のレーダーを調べて絶句するさっきまで何も無かった場所にアンノウン反応があったからだ。

「嘘だろ！？」

ガンダムのレーダーを上回るステルス機能だなんて……」

『うだうだ言ってる場合じゃねえ！』

さっさとアンノウンに備え……待て……』

「どうしたよ！」

このままじゃやられちゃうー！」

こんな所で死ぬなんてやだぜ！？」

『……こいつパイロットは入るけど気絶してんじゃねえか？』

「はあ！？」

何でだ！？」

『いや……さつき通信を試してみたんだが軽い呼吸だが寝息立ててやがった。』

つまり……』

成る程……気絶してるとて訳か……

『そういう事だ。』

アンノウンを回収してさっさと帰投すつぞ。』

「おうよ！」

俺はフットペダルを全開で踏み相棒を全速力で移動させる。

『見えたぜ、アンノウンだ！』

「あれが……」

俺達の目の前には手にライフルを持ち背中に飛行機のようなパーツを背負い更に盾を持った銀と黒を基調にしたモビルスーツがいた。

「うし、さっさと連れて帰ろうぜ！」

『あいよ。』

俺達はアンノウンの両脇をガンダムで挟んで基地まで全速力で帰還を開始した。

彼等はこの機体の中に無限の可能性を秘めた少年…… 『吉井明久』  
が入る事をまだ知らない。

続く

## プロローグ（後書き）

如何でしたか？

次回は？？？達の正体が解り更に明久が魔女達と出会います。

次回『帰還と目覚めとパンツ？』

お楽しみに！



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1672ba/>

---

バカとクロスと異世界

2012年1月4日07時46分発行